

はくぶつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM '88 7月号

**** 7月の行事 ****



7月

2	土	古文書講読会／土曜観察会
9	土	石仏を調べる会
16	土	古文書講読会／土曜観察会
23	土	石仏を調べる会
24	日	相模川を歩く会(まとめ)
26	火	星を見る会"月と土星を見よう"
"		自由研究相談会
27	水	入門講座"セミのぬけがら調べ"
29	金	"

- ・特別展：相模川流域の弥生時代
(20～8/30日まで)
- ・寄贈品コーナー：渡辺コレクション"絵葉書"
(30まで)
- ・プラネタリウム：土星の環 (10まで)
真説・火星物語(16～8/30まで)

8月

4	木	入門講座"セミのぬけがら調べ"
4～5		入門講座"中学生のための天文教室"
5	金	史跡見学会(三殿台考古館)
6	土	古文書講読会
7	日	特別展講演会"相模川流域の弥生時代"
9～11		サマーセミナー(七国荘)
11～12		天体観察会(七国荘)
12～13		" "
13	土	石仏を調べる会
18	木	入門講座"セミのぬけがら調べ"
19	金	星を見る会"月と土星を見よう"
20	土	古文書講読会
23	火	自由研究相談会(科学教室)
24	水	入門講座"セミのぬけがら調べ"
27	土	石仏を調べる会
28	日	相模川を歩く会

- ・寄贈品コーナー：天文部門
(8/1～9/20まで)
- ・プラネタリウム：真説"火星物語"
(7/16～8/28まで)
- ・特別展：相模川流域の弥生時代
(7/20～8/30)

○夏期特別展「相模川流域の弥生時代」

期間 昭和63年7月20日～8月30日
会場 平塚市博物館 特別展示室
内容 私達の生活基盤となった弥生時代に視点を置き、相模川流域で展開された弥生時代の様相について紹介します。

●史跡見学会

日時 8月5日(金)午後2時から
場所 三殿台考古館
講師 今井康博氏(三殿台考古館学芸員)
定員 30名
申し込み 7月20日までに、氏名・住所・年齢・電話番号明記の上往復葉書で。

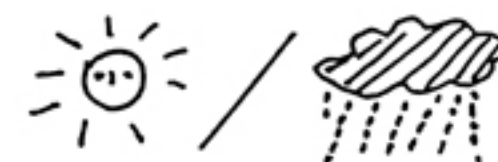
夏休みするもの寄っといで 夏休みするもの寄っといで

博物館この夏の行事特集

夏休みするもの寄っといで

夏休みするもの寄っといで

●サマーセミナー参加者募集



夏休みに2泊3日で、平塚市土屋地域の自然と人々の生活の様子について、いろいろなテーマで学習する。

日程： 8月9日（火）～11日（木）

会場： 七国荘（平塚市土屋）

募集人員： 小学校5年生～中学校3年生までの男女計30名（申し込み多数の時は抽選）

申し込み： 案内書を送付するので、60円切手を同封の上、封書で7月10日までに博物館へ。

○星を見る会

望遠鏡で月や土星を観察したり、夏の星を見ます。

7月26日（火） 月と土星を見よう1

8月19日（金） 月と土星を見よう2

いずれも午後6時半～8時まで。参加は自由です。博物館の科学教室にお集まりください。

当日、曇った場合は中止します。

○自由研究相談会

歴史、民俗、考古、生物、地質、天文の各分野の自由研究の相談にお答えします。

日時 7月26日（火）10時～15時

8月23日（火） "

場所 博物館科学教室

特別相談員（地質）

7月26日 松島義章氏（神奈川県立博物館）

8月23日 平田大二氏（ " ）

○プラネタリウム「真説・火星物語」

砂と運河。白い極冠。春夏秋冬の四季。暗い緑の海の正体は？今世紀初め、火星には高度な文明が存在するという説があり、作家たちは多くの物語を展開しました。

今世紀最後の大接近を秋にひかえ、この星における物語のゆくえを探ります。

（7月16日～8月28日）

●自然観察入門講座

「セミのぬけがらを調べよう」

日程：

・ガイドンス（セミのぬけがらの見分け方）／7月27日（水）午後1時半～4時 博物館

・ぬけがら探し／7月29日（金）、8月18日（木）午前8時～12時 高麗山

・セミの羽化の観察／8月4日（木）午後6時～8時半 旭方面

・まとめ／8月24日（木）午後1時半～4時 博物館

申込み：7月20日までに往復ハガキで博物館へ。小学校5年生以上。保護者同伴ならそれ以下の学年でも可。定員30名

夏はセミの季節です。平塚には全部で7種類のセミがすんでいます。その内アブラゼミ・ミンミンゼミ・ヒグラシ・ニイニイゼミ・ツクツクホウシの5種類について、ぬけがらを使って調べてみたいと思います。ぬけがらからは、それぞれの種類がどんな林が好きか、どの種類が早く地上に現れるかなど、いろいろなことを知ることができます。上にあげた全体の活動のほかにも、自分で場所を決めて調べるつもりで参加してください。

●自然観察入門講座「中学生のための天文教室」

星のうごきや太陽の観察を通して、天文の基礎を学びます。

日時：8月4日（木）午後2時～10時

" 5日（金）午前9時～午後4時

曇天の場合、日程を変更することがあります。

予備日：8月9日（火）

対象：中学生（定員10名）

場所：博物館（科学教室、屋上、プラネタリウム）

申込み：往復ハガキに住所、氏名、電話番号を記入して、7月22日までに。多数の場合は抽選とします。

* 投影時間

水・木曜日：午後2時

土曜日：午後2時・3時30分

日曜日：午前11時・午後2時

（開場は10分前、観覧券は当日発売）

* 団体の予約受付中

水・木・土曜日の午前11時にご覧になれます。

くわしくは博物館管理係までお問い合わせください。

海と川 — 水の汚れを示す生物 —

2階展示コーナー 版28

●汚れる川

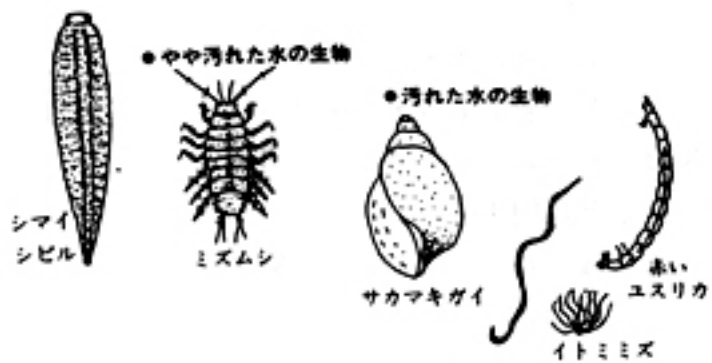
平塚は東に相模川、西に花水川（金目川）という2本の川にはさまれ、川とつながりが深い町といえるでしょう。

昭和20年代までは、どの川の流れも水が澄んでいて、夏になると子供達が川で泳いでいるのが普通の光景でした。ところが昭和30年代の後半から、流域の人口が増え、産業が発展するにつれて、家庭や工場からの排水が川に流れ込み、川の水質はどんどん悪くなってしまいました。水道や工業用水として川の水が大量に取水され、川の水の量が減ったことも水質の悪化をさらに進める原因となりました。

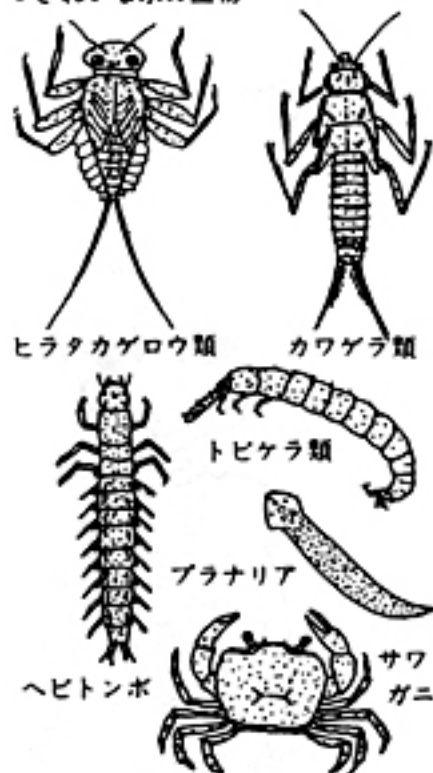
その後、川を汚した反省から、排水の水質基準が厳密に決められ、また下水道の建設が進められて、一時期よりも川の水質はきれいになってきています。しかし、下流部では、清流に程遠い現状に変わりはありません。

●汚れを知らせる生物

川の水がどの程度汚れているかを、示すにはいろいろな方法があります。BODといって、その水に含まれている有機物を微生物が分解するのに、どのくらいの酸素が必要かで表す方法は、よく用いられる数値の一つです。アンモニア、貴金属など特定の物質がどのくらい溶けているかを、直接表現する方法もあります。



●きれいな水の生物



しかし、これらの方法は測定するのに、薬品や器具が必要なので、どこでも誰でも調べるというわけにはいきません。そこで考えられたのが、水中に生活している生物の種類で水質の程度を表すという方法です。

日本の各地の川で、詳しい調査が重ねられた結果、川では川底の石や泥の間で生活している生物の種類が、水質を非常によく表していることがわかりました。しかも、これらの生物は、いつもで生活しているわけですから、ある程度長い期間にわたる水質の状態を示しているとみることができます。

こうした生物は水質の指標生物（しひょうせいぶつ）と呼ばれています。その代表的な種類を図に示しましたが、これをよく知っていれば、初めて訪れた川でも、その水の汚れの程度を調べることができるわけです。展示をよく見て、ぜひ頭にいらしてください。（浜口）